

第23回 日本視機能看護学会会員情報交換会



- テーマ：退院支援を含めた多職種連携と困難事例に対する対応
- 日時：2024年12月14日（土）14：00～15：30
- 講師：永沼加代子先生（医療法人社団済安堂 井上眼科病院 医療ソーシャルワーカー）
- 座長：大音清香（日本視機能看護学会名誉理事長）
- 参加人数：10施設18名（日本視機能看護学会役員含む）

【報告】

昨年同様、退院支援における看護師の役割として医療ソーシャルワーカーがいない施設の看護師の方からのご相談が多くありました。その点を踏まえた上で、様々な支援の方法について永沼先生よりセミナーにご講演頂きました。

その後の情報交換会で参加者の方より、具体的な事例を用いた介入の実際を共有したうえでのご相談に対して、永沼先生よりセミナーでもご紹介された無料低額診療事業についてのご教示を頂きました。全身疾患もあり並行しながら治療を行う必要がある患者さんなど、費用面で治療の継続が困難な方については、無料低額診療事業を行っている病院に紹介して対応して頂くという方法も有効であることをご教授頂きました。

更には退院支援の身近な方法として、特別訪問看護指示書を用いて訪問看護ステーションと連携を図る事ができ、月末の利用であれば最大4週間利用できる事などを情報交換する事もできるという情報交換もあり、具体的な方法論であるため、大変参考になったというご意見もありました。

今回も事例検討としてのご相談を情報交換する中で、看護師として丁寧に寄り添われ、看護師の限界を感じながらも更にできる事を探していかれるお姿もありました。前回の地域連携のセミナーで永沼先生からご教授頂いた、看護師のバーンアウトの心配もあり、患者さんとの距離感についても考えながら継続的に患者支援を進めていく事も必要であるというご教授を頂きました。その為にも、今回のテーマである多職種連携の重要性やその方法をより多く学び、院内連携として事務の方や検査員と協力し、地域の支援に繋いでいく事が必要であり、今後も情報交換会を継続的に行っていきたいと考えます。